

▼東北

イタリアンナイト

庄司 精一（〇×）

イタリアンのお店の名称はリストランテ、オーストリア、トラットリア等、様々。「旅・グルメ同好会」が今回選んだ一番町の店は「キャントンティ・ヴォーノ」。『イタリアン食堂』と看板にあるから、大衆食堂を意味するトラットリアだろう。仙台に数あるお店の中でも老舗の人気店だ。



お好みのお酒で乾杯



最後の晚餐を背に記念撮影

ビール、ワインと好みのお酒を頼んで乾杯。マッシュルームのサラダから始まり、鯛のカルパッチョ、

参加は80代3名、70代4名の7名、仙台在住の会員からのメッセージも紹介しました。

久しぶりの交流会では話題がつきませんでしたが、特に「25mプ



店の入り口のミニネブタ



再会を期して記念撮影

定番のマルゲリータと美味しい料理が続いでお酒も進み、海外旅行の想い出話など会話も弾む。

料理はメインのオマール海老のクリーミーパスタ、仙台牛のかツトステーキとテーブルに運ばれ、シメのドルチエはティラミス。イタリアンは余り馴染みがないという参加者も大満足のイタリアンナイト。最後に、壁面のレオナルド・ダ・ビンチの「最後の晩餐」をバックに記念写真を撮つてお開きになりました。

青森地区交流会が、市内ホテルにある日本料理店で10月11日に開催されました。店の入口には近海の海の幸を題材にしたミニネブタが展示され、旬の食材を厳選したという料理に大満足でした。

青森地区交流会が、市内ホテルで10月11日に開催されました。店の入口には近海の海の幸を題材にしたミニネブタが展示され、旬の食材を厳選したという料理に大満足でした。

大友 寿郎（RAB）

青森地区交流会が、市内ホテルで10月11日に開催されました。店の入口には近海の海の幸を題材にしたミニネブタが展示され、旬の食材を厳選したという料理に大満足でした。

この日、外の気温は15℃程でこれまでからの厳しい冬の生活への覚悟を感じさせる寒い夜でしたが、次回元気で再会することを約束して交流会を終えました。またお会いしましょう！

青森地区交流会開催

大友 寿郎（RAB）

青森地区交流会が、市内ホテルで10月11日に開催されました。

店の入口には近海の海の幸を題材にしたミニネブタが展示され、旬の食材を厳選したという料理に大満足でした。

この日、外の気温は15℃程でこれまでからの厳しい冬の生活への覚悟を感じさせる寒い夜でしたが、次回元気で再会することを約束して交流会を終えました。またお会いしましょう！